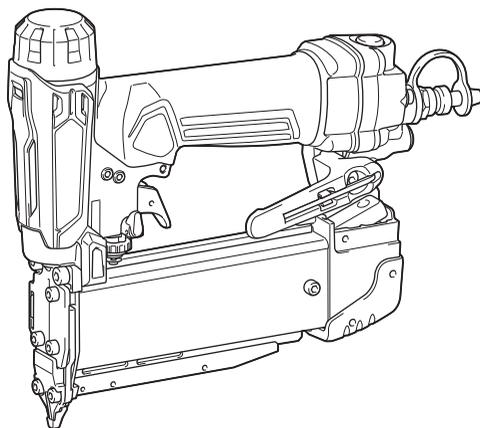


Makita

取扱説明書

高圧ピンタッカ

モデル AF502HP



このたびは高圧ピンタッカをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ 各部の名称および標準付属品	7
・ 別販売品のご紹介	8
・ 使い方	10
・ 安全装置の確認	10
・ コンプレッサの選定について	11
・ エアホースの選定について	12
・ コンプレッサ、エアホースの保管・点検	12
・ ピンネイルの装てん	12
・ 空打ち防止機能	14
・ 打ち込み深さ調整	14
・ トリガロックの操作方法	15
・ 六角棒スパナの収納	16
・ フックについて	16
・ フックの取り付け・取りはずし方	17
・ ノーズアダプタについて	18
・ ノーズアダプタの保管	19
・ エアホースの接続	20
・ エアダスタの使い方	21
・ 打ち込み方法	22
・ ピンネイルづまりの直し方	23
・ 保守・点検について	24
・ 本機のお手入れ	25
・ ご修理の際は	25

主要機能

モデル	AF502HP
主要機能	
使用空気圧力	1.18 ~ 2.26 MPa (12 ~ 23 kgf/cm ²)
使用ピンネイル	直径 0.6 mm × 長さ 15 mm, 18 mm, 25 mm, 30 mm, 35 mm, 45 mm, 50 mm
装てん数	100 本
本機寸法	長さ 246 mm × 幅 62 mm × 高さ 205 mm
質量	1.1 kg
使用エアホース	マキタ高圧エアホース 内径 4.0 mm 以上

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

安全上のご注意

JPB069-8

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

⚠ 警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
 - ・ 本機の取扱知識が不十分な場合、事故の原因になります。
2. 次のときは、本機を使用しないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
 - 疲れているとき、身体が不調なとき。
 - 酒類や薬物を飲んで正常な操作ができないとき。
3. 保護メガネ、耳栓を装着し、また作業環境に応じてヘルメットなども着用して釘打ち作業をしてください。
 - ・ 装着しないと打ち損じの釘や釘の連結片で目などにけがをしたり、排気音で耳を傷める原因になります。
4. 揮発性可燃物（ガソリン・シンナーなど）の近くでは使用しないでください。
 - ・ 釘を打ち込むときの火花で火災を起こす恐れがあります。
5. 釘打ち作業以外の用途には使用しないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
6. 本機に刻印や溶接などの改造をしないでください。
 - ・ 外枠が破損し、けがの原因になります。
7. 動力源は圧縮空気を使用してください。
 - ・ 圧縮空気以外ガス（プロパン、アセチレン、酸素など）を用いると爆発する恐れがあります。
8. 圧縮空気の圧力は 1.18 ~ 2.26 MPa（12 ~ 23 kgf/cm²）の範囲内で使用してください。
 - ・ 高すぎる圧力は、本機損傷による事故の原因になります。
9. カバーは、はずさないでください。
 - ・ はずすと釘の連結片や打ち損じの釘が飛散し、事故の原因になります。
10. 安全装置が正常に作動するか確認してからご使用ください。
 - ・ 安全装置に異常があると、事故の原因になります。
11. 足場を使って作業する場合、常に足場をしっかりさせ、バランスが保てる姿勢で作業してください。
 - ・ 足場が不安定だと事故の原因になります。
12. 屋根などで作業をするときは、前進しながら打つようにしてください。
 - ・ 後退しながら打つと足を踏みはずし、事故の原因になります。
13. 近くに人がいないことを確認してから作業を始めてください。
 - ・ 打ち損じの釘や釘の連結片などが当たり、けがをする原因となります。

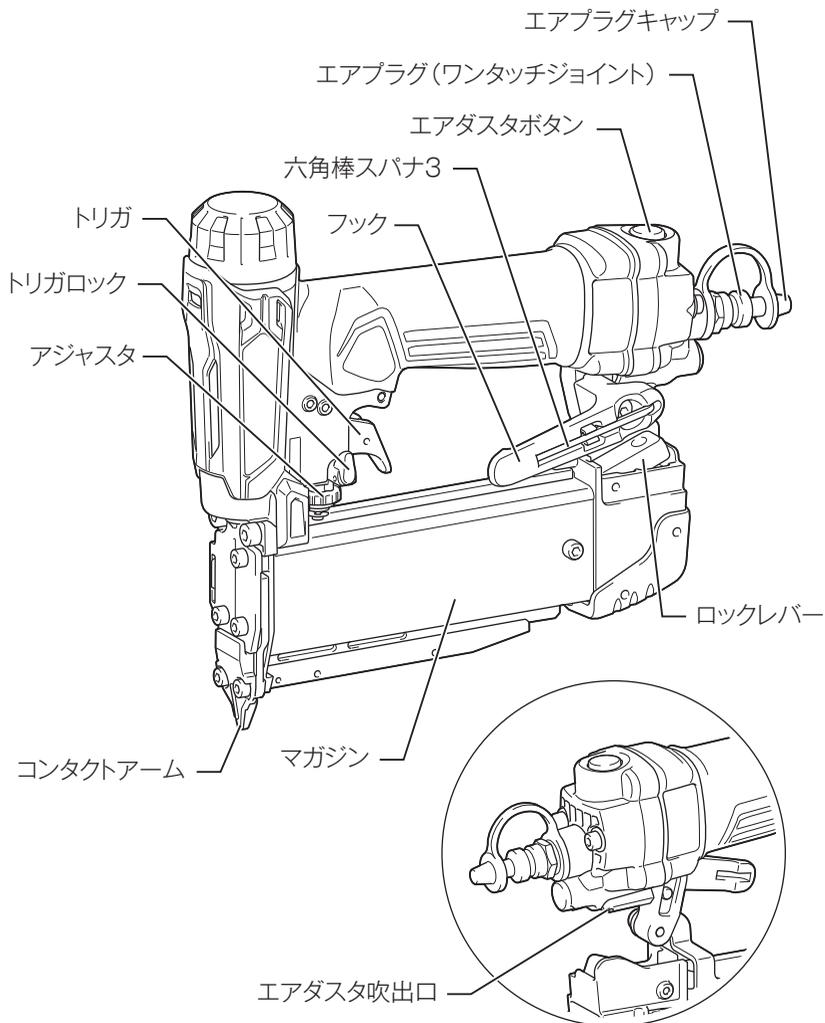
⚠ 警告

14. 壁の内、外側からの同時作業はしないでください。
 - ・ 釘が突き抜けたり、それたりしたとき、事故の原因になります。
15. 高所での作業のときは、ホースの固定箇所を設けてください。
 - ・ 不意に引っ張られたり、引っかかったりしたとき、事故の原因になります。
16. 射出口やエアダスタ吹出口を人に向けてたり、手足を射出口やエアダスタ吹出口付近に近づけたりしないでください。
 - ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。
17. トリガに指をかけたまま持ち運んだり、手渡しなどをしないでください。
 - ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。
18. エアホースをつなぐときは、トリガに指をかけないでください。
 - ・ 誤って発射された場合に事故の原因になります。
19. エアホースを抜くときは、トリガに指をかけないでください。
 - ・ 次にエアホースをつないだとき、誤って発射された場合に事故の原因になります。
20. 落としたり、強い衝撃を与えた場合、本機に破損や亀裂がないか、また安全装置が正常に作動するかを確認してから使用してください。
 - ・ 本機内部には圧縮空気が充てんされており、破裂や事故の原因になります。
21. 次の場合は、トリガをロックしエアホースを本機からはずしてください。
 - ・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。
 - 修理する場合。
 - 釘を装てんする場合、また取り出す場合。
 - 作業中、本機を持って移動する場合。
 - 本機を使用しない場合。
 - 本機の調整または点検を行う場合。
 - 釘詰まりを直す場合。

⚠ 注意

1. 裾や袖の締まりのよい服装をしてください。
 - ・ 袖口や裾の開いた衣服などで作業しますと、事故の原因になります。
2. 作業場は、いつも明るくきれいにしてください。
 - ・ 暗かったり、ちらかった所での作業は事故の原因になります。
3. 使用前に、部品が損傷していないか、ボルトがゆるんでいないか、エア漏れがないかを点検してください。
 - ・ 不完全な本機を使用すると、事故の原因になります。
4. 作業する箇所に電線管やガス管などの埋設物がないことを確かめてください。
 - ・ 埋設物を損傷すると感電やガス漏れ事故の原因になります。
5. 射出口を確実に材料に当ててください。
 - ・ 確実に当てていないと、釘がはね返り、事故の原因になります。
6. 作業中は、本機に顔などを近づけないでください。
 - ・ 釘の上や木の節などに当たった場合、本機が大きく反動し、けがをする原因になります。
7. 作業中に本機の調子が悪くなったり、異常に気づいた場合には、ただちに使用を中止してください。
 - ・ そのまま使用していると事故の原因になります。
8. 本機およびコンプレッサは、空気充てんのまま長時間直射日光に当てて放置しないでください。
 - ・ タンク内および本機内の高圧の空気がさらに高圧になり、事故の原因になります。
9. 本機の握り部は常に乾かしてきれいな状態を保ってください。
 - ・ 握り部が滑りやすいとけがの原因になります。
10. いつも安全に能率よくご使用いただくために、定期点検をおすすめします。点検修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない人が修理しますと、事故の原因となります。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ・ ノーズアダプタ (本機取り付け：2 個)
- ・ 油サシ (潤滑油 VG 32)
- ・ セーフティゴーグル (保護メガネ)
- ・ 六角棒スパナ 3 (本機取り付け)
- ・ プラスチックケース

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ 高圧ホース

種類	ホース径 (外径×内径 mm)	長さ	部品番号	仕様
高圧スリック スリムホース	8 × 4	10 m	A-51736	ワンタッチ ジョイント付 (ロータリー付)
		15 m	A-51742	
		20 m	A-51758	
高圧スリック ホース	9 × 5	10 m	A-57211	
		15 m	A-57227	
		20 m	A-57233	
		30 m	A-57249	
	10 × 6	10 m	A-46280	
		15 m	A-56552	
		20 m	A-46296	
高圧用エアホース	9 × 5.3	20 m	A-41654	ワンタッチ ジョイント付
		30 m	A-41660	

別販売品のご紹介

・ ピンネイル

種類	材質	長さ (mm)	色	型式	小箱		大箱 (小箱入数)	
					部品番号	入数		
	鉄	15	無地	S6-15	F-01369	20000 本	24 箱	
				S6-18	F-01372			
		18	無地	P18	F-00013	3000 本	10 箱× 2 箱	
				白	P18 シロ			F-01758
				茶	P18 チャ			F-01761
				薄茶	P18 ウスチャ			F-01787
				ベージュ	P18 ベージュ			F-01774
		25	無地	S6-25	F-01398	20000 本	16 箱	
				P25	F-00026			
			白	P25 シロ	F-01790	3000 本	10 箱× 2 箱	
				茶	P25 チャ			F-00039
				薄茶	P25 ウスチャ			F-01806
		ベージュ	P25 ベージュ	F-00042				
		30	無地	P30	F-01819	3000 本	10 箱× 2 箱	
			白	P30 シロ	F-01822			
			茶	P30 チャ	F-01835			
			薄茶	P30 ウスチャ	F-01851			
			ベージュ	P30 ベージュ	F-01848			
		35	無地	P35	F-00055	3000 本	10 箱× 2 箱	
			白	P35 シロ	F-01864			
			茶	P35 チャ	F-00068			
			薄茶	P35 ウスチャ	F-01877			
			ベージュ	P35 ベージュ	F-00071			
		45	無地	P45	F-02088	3000 本	10 箱× 2 箱	
	白		P45 シロ	F-02091				
	茶		P45 チャ	F-02107				
	薄茶		P45 ウスチャ	F-02110				
	ベージュ		P45 ベージュ	F-02123				
	50	無地	P50	F-02136	3000 本	10 箱× 2 箱		
		白	P50 シロ	F-02149				
		茶	P50 チャ	F-02152				
		薄茶	P50 ウスチャ	F-02165				
ベージュ		P50 ベージュ	F-02178					
ステンレス	18	無地	P18S	F-01880	3000 本	10 箱× 2 箱		
		無地	P25S	F-00084				
	25	茶	P25S チャ	F-00097				
		ベージュ	P25S ベージュ	F-00103				
	30	無地	P30S	F-01893				
		無地	P35S	F-00116				
35	茶	P35S チャ	F-00129					
	ベージュ	P35S ベージュ	F-00312					

使い方

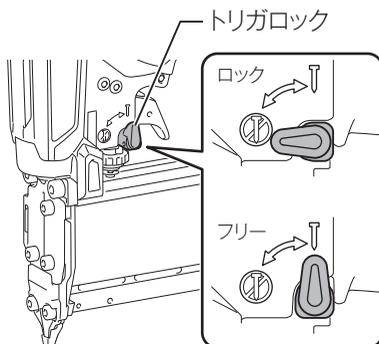
安全装置の確認

⚠ 警告

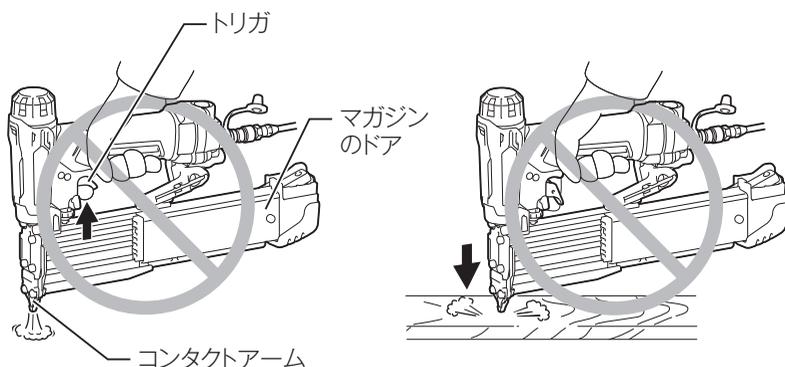
安全装置に異常がある場合は使用しないでください。

・そのまま使用すると事故の原因になります。

- 釘を打つ作業に入る前に安全装置に異常がないかを下記の手順で確認してください。
1. 作業に入る前に本機に釘が装てんされていないことを確認してください。
 2. 本機にエアホースを接続します。
 3. トリガロックをフリー（↓）の位置にセットします。



4. マガジンのドアをスライドさせて開きます。
5. まずトリガだけを引きます。次にトリガから指を離し、コンタクトアームを材料に押し当てます。

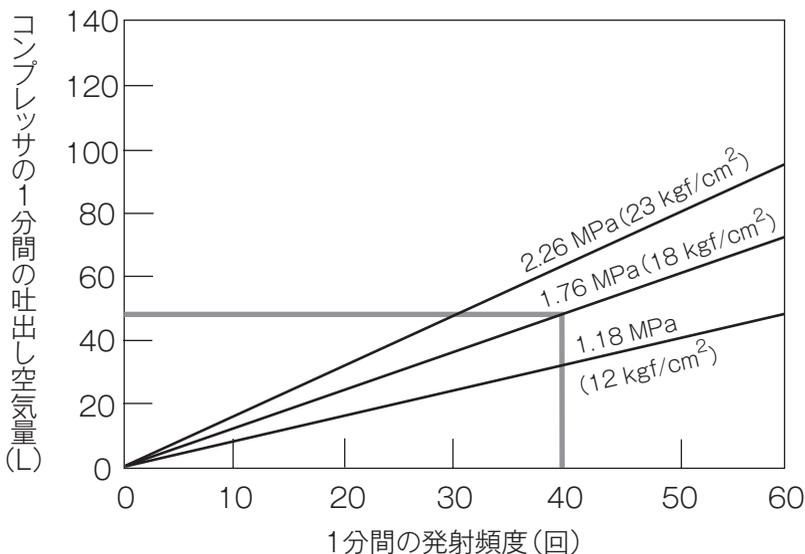


6. 上記5の操作で本機が作動する場合は、安全装置が異常です。

使い方

コンプレッサの選定について

- ・ 本機を能率よく使用するために、コンプレッサの最高圧力と吐出し空気量は余裕のあるものを使用してください。コンプレッサを選定されるときは図を参考にしてください。
- ・ 図は本機での発射頻度、使用圧力とコンプレッサの吐出し空気量の関係を示します。たとえば、使用圧力が 1.76 MPa (18 kgf/cm²) で発射頻度が 1 分間に約 40 回ですと、吐出し空気量 50 L/min 以上のコンプレッサが必要です。



使い方

エアホースの選定について

- ・ 高圧用エアホースを使用してください。
- ・ 連続作業を効率よく行うためにエアホースは太く短いものを使用してください。
※エアホースの内径が 4 mm の場合は 20 m 以下の長さに、内径が 4 mm を超える場合は 30 m 以下の長さを目安に選定してください。

注

- ・ 釘の発射頻度に比べ、エアコンプレッサの吐出し空気量が少ない場合や、エアホースの内径が細いか、長すぎる場合は、打ち込み力が低下します。

コンプレッサ、エアホースの保管・点検

- ・ 作業後は必ずコンプレッサのタンクの水抜きをしてください。水がたまった状態で使用されますと、本機的能力が低下するばかりでなく、故障の原因になります。
- ・ エアホースは熱 (60 °C 以上)、薬品 (シンナー、強酸、強アルカリなど) および傷つけやすいものから保護するようにしてください。

ピンネイルの装てん

⚠ 警告

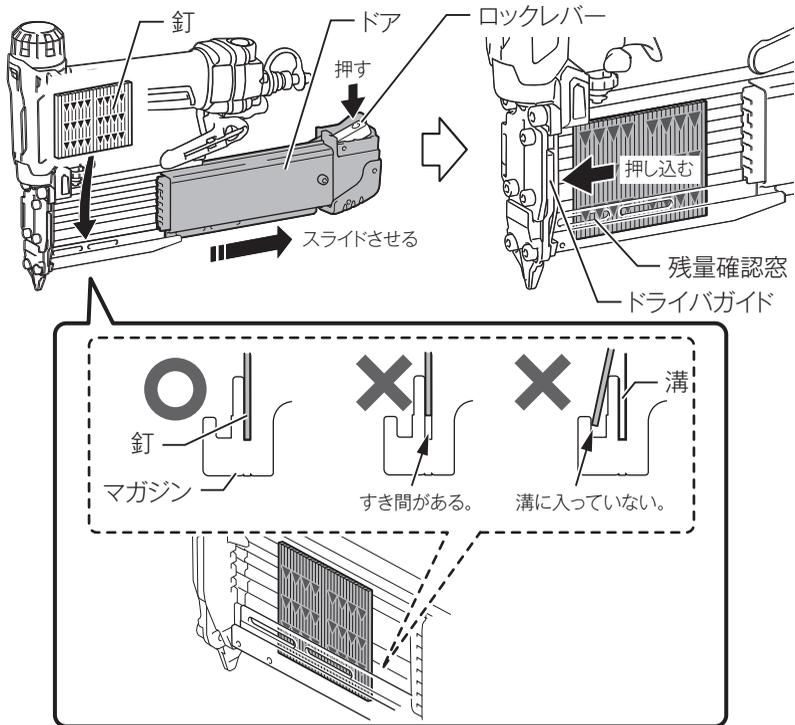
- ピンネイルを装てんする場合は、必ずエアホースを抜いてください。
- ・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。

⚠ 注意

- ピンネイルを装てんした状態で不用意にマガジンを開かないでください。
- ・ 特に高所での作業時にピンネイルが落下すると事故の原因になります。
- ピンネイルの向きに注意してください。
- ・ ピンネイルの向きを間違えるとドライバの磨耗を早めるのと、その他の部品を破損する場合があります。

1. トリガをロックしてエアホースをはずします。
2. ロックレバーを押してマガジンのドアをスライドさせて開きます。
3. ピンネイルをマガジンの溝の奥にしっかりと差し込み、そのままドライバガイドの奥まで押し込みます。

使い方



4. ロックレバーが「カチッ」と音がするまでドアを押し込みます。

注

- 指定以外のピンネイルを使用しないでください。
- ピンネイルやピンネイルの連結が変形したものは使用しないでください。
- マガジン内に異なるサイズのピンネイルを同時に装てんしないでください。
ピンネイルづまり、故障の原因になります。

使い方

空打ち防止機能

⚠ 警告

ピンネイルを装てんする場合は、必ずトリガをロックしてエアホースを抜いてください。

- ・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。
- ・ ピンネイルの残りが 16 ~ 17 本になると空打ち防止機能が働き、ピンが打てなくなります。この場合、同じサイズのピンネイルを追加装てんすれば、続けて打ち込みができます。

注

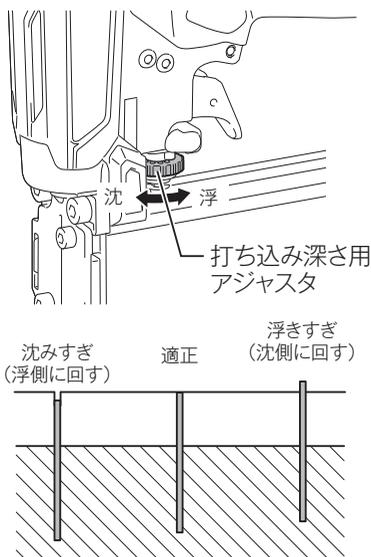
- ・ 空打ち防止機構が働いた直後に本機に残ったピンネイルと異なるサイズのピンネイルを打つ場合には、マガジン内に残ったピンネイルを取りはずしてください。

打ち込み深さ調整

⚠ 警告

打ち込み深さ調整をする場合は、必ずトリガをロックしてエアホースを抜いてください。

- ・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。
- ・ 打ち込み深さ用アジャスタを回すことで、打ち込み深さを調整することができます。調整幅は 1.5 mm です。



使い方

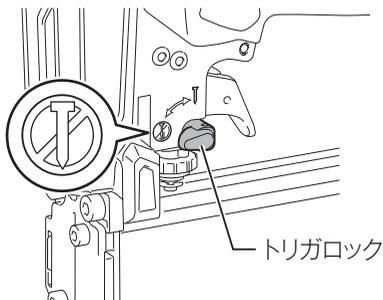
トリガロックの操作方法

⚠ 警告

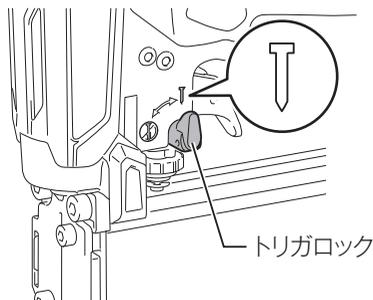
ピンネイルを打つとき以外は、必ずトリガをロックしてください。

- ・ 誤って発射された場合に事故の原因になります。

- ・ 本機にはピンネイル打ち作業をしていないとき、誤った操作による事故を防ぐために、トリガロック機構を装備しています。トリガを固定し、ピンネイルを発射できない状態にする機構です。
- ・ トリガロックをロック（）の位置にセットすると、トリガが固定されます。



- ・ ピンネイルを打つときは、トリガロックをフリー（）の位置にしてください。



注

- ・ 作業時以外はトリガを固定して、エアホースを抜いてください。

使い方

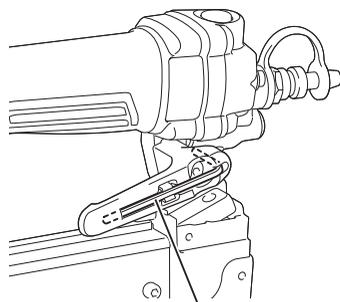
六角棒スパナの収納

⚠ 警告

六角棒スパナを取り付け・取りはずしをする場合は、必ずトリガをロックしてエアホースを抜いてください。

- ・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。

- ・ 六角棒スパナ 3 は、図の位置に収納することができます。



六角棒スパナ3

フックについて

⚠ 警告

フックを使用する場合は、必ずトリガをロックしてエアホースを抜いてください。

- ・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。

フックを腰のベルトなどにはけしないでください。

- ・ フックがはずれて本機が落下した場合、誤作動する恐れがあり、事故の原因になります。



高所作業のときは、フックを使用しないでください。

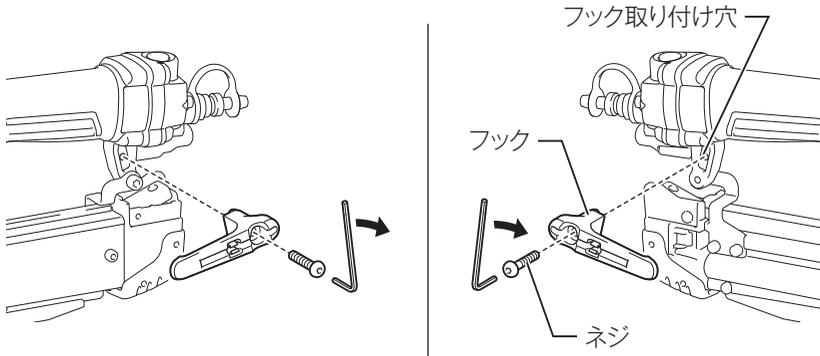
- ・ 本機を落としたとき、事故の原因になります。

- ・ フックを利用すれば本機を一時的に引っかけておくのに便利です。

使い方

フックの取り付け・取りはずし方

- ・ 取り付けるときは、本機のフック取り付け穴にフックを差し込んだ後、ネジで固定します。左右どちら側にも取り付け可能です。
- ・ 取りはずすときは、ネジをゆるめてからフックをはずします。



注

- ・ フックを取り付ける際は、ネジを十分に締め付けてください。ネジの締め付けが不十分ですと、フックがはずれ、事故の原因になります。

使い方

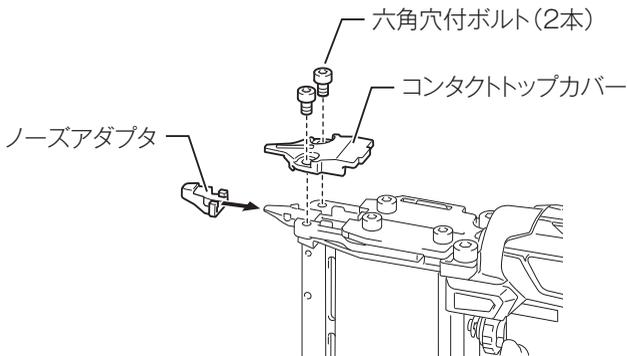
ノーズアダプタについて

⚠ 警告

ノーズアダプタを取り付け・取りはずしをする場合は、必ずトリガをロックしてエアホースを抜いてください。

・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。

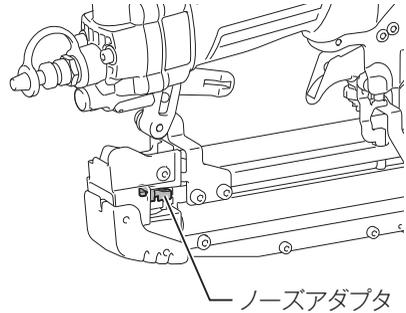
- ・ 化粧板などの表面にキズを付けたくない場合、コンタクトアーム先端にノーズアダプタを取り付けてください。
1. コンタクトトップカバーを固定している六角穴付ボルト（2本）を付属の六角棒スパナ3ではずします。
 2. コンタクトアームの先端にノーズアダプタを図の向きで取り付けます。
 3. コンタクトトップカバーを取り付け、六角穴付ボルト（2本）をしっかりと締め付けます。



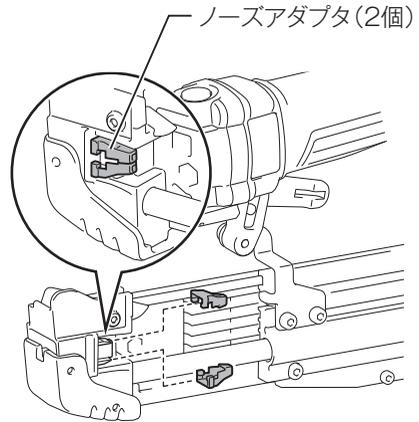
使い方

ノーズアダプタの保管

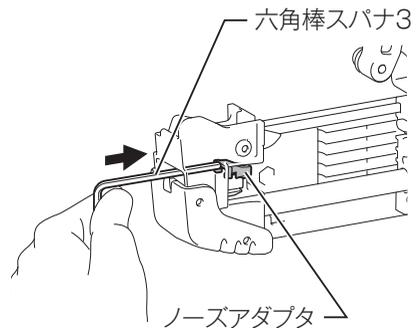
- ・ ノーズアダプタを使用しないときは、マガジン後方のホルダに収納してください。



- ・ 図のようにマガジンを少し開いた状態でホルダにセットし、マガジンを閉じます。合計 2 個収納できます。



- ・ ノーズアダプタを収納場所から取りはずす際は、マガジン後方から付属の六角棒スパナ 3 で押し出すと簡単にはずせます。



使い方

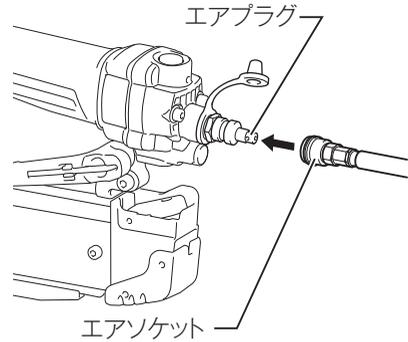
エアホースの接続

⚠ 警告

エアホースをつなぐときは、トリガに指をかけないでください。

- ・ 誤って発射された場合に事故の原因になります。

- ・ トリガをロックし、本機のエアプラグにエアホースのエアソケットを差し込みます。



使い方

エアダスタの使い方

⚠ 警告

エアダスタを使用するときは必ずトリガをロックしてください。

エアダスタ吹出口を人に向けたり、手足を吹出口付近に近づけたりしないでください。

- ・ 誤って吹き出した場合、事故の原因になります。

近くに人がいないことを確認してから使用してください。

- ・ 吹き飛ばしたホコリや木くずなどが当たり、けがをする原因になります。

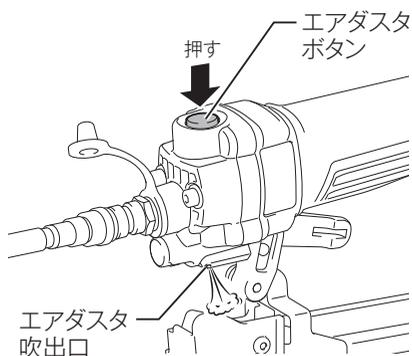
エアダスタボタンを押したまま、エアホースをつないだり、はずしたりしないでください。

エアダスタを使用すると一時的に打ち込み力が低下する場合があります。

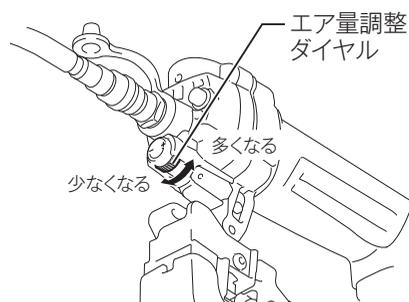
エアコンプレッサの圧力が回復してから作業を始めてください。

注油直後にエアダスタを使用すると、オイルがエアダスタ吹出口より霧状に飛び散る場合があります。油がかかっても支障のない所で試してから作業してください。

- ・ エアダスタを使用すれば、ホコリや木くずを吹き飛ばすことができます。



- ・ エアの量はダイヤルを回して調整することができます。



使い方

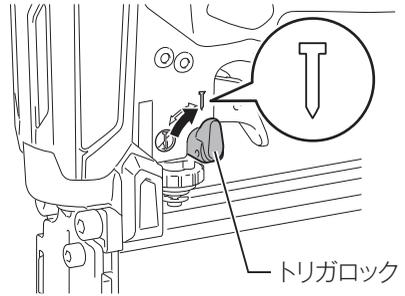
打ち込み方法

⚠ 警告

必ず射出口を材料に当ててからトリガを引いてください。

・ 誤って発射した場合に、事故の原因になります。

1. トリガロックをフリー（）位置にセットします。



2. コンタクトアームの先端を、材料に押し付けます。
3. トリガを引きます。



使い方

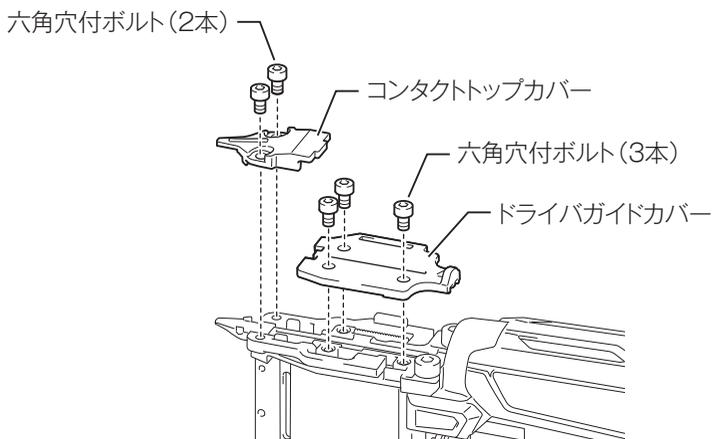
ピンネイルづまりの直し方

⚠ 警告

ピンネイルづまりを直す際は、必ずトリガをロックしてエアホースを抜いてください。

- ・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。

1. エアホースを抜きます。
2. ロックレバーを押してマガジンを後ろへスライドさせて開きます。
3. 付属の六角棒スパナ3を使用して、六角穴付ボルト（2本）をはずし、コンタクトトップカバーをはずします。
4. 通路につまったピンネイル、破片、接着剤、木くずなどをマイナスドライバなどで取り除きます。
5. コンタクトトップカバー側にも、ピンネイル、異物がないことを確認します。
6. コンタクトトップカバーをはずしても十分に取り除けない場合、六角穴付ボルト（3本）をはずし、ドライバガイドカバーをはずして同様の作業を行います。
7. 作業後は、元通りに組み付けます。



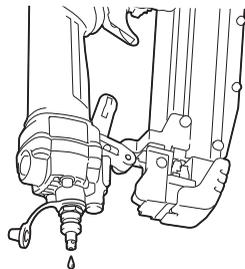
保守・点検について

⚠ 警告

点検・整備の際は、必ずトリガをロックしてエアホースを抜いてください。
エアホースを本機に差し込んだまま行くと、事故の原因になります。

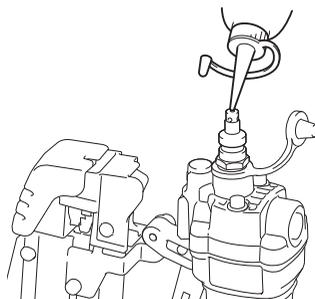
1. 水抜きを行う

本機のエアプラグをしばらく下に向け、本機内部に残っている水分をできるだけ除去してください。



2. オイルを注油する

本機に付属している油サシ（タービン油 JIS 2 種 ISOVG32）で 2～3 滴（約 1 mL）をエアプラグより注油してください。
指定外のオイルを使用すると、故障の原因となります。

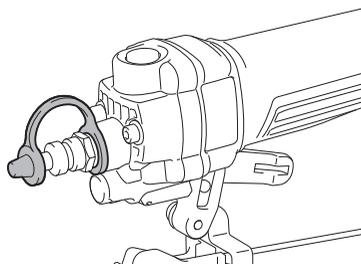


3. 本機の清掃

本機が、ホコリ・木くず・砂などで汚れている場合は、エアダスタで清掃してください。

4. エアプラグキャップの使用

本機を使用しないときは、本機内部に異物（ゴミ・ホコリ）が入らないように、エアプラグキャップを装着してください。



5. 作業後の保管

プラスチックケースに収納し、直射日光の当たらない場所に保管してください。

保守・点検について

本機のお手入れ

- ・ 乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。本機内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

881B06-7
IWT

株式会社 マキウ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)